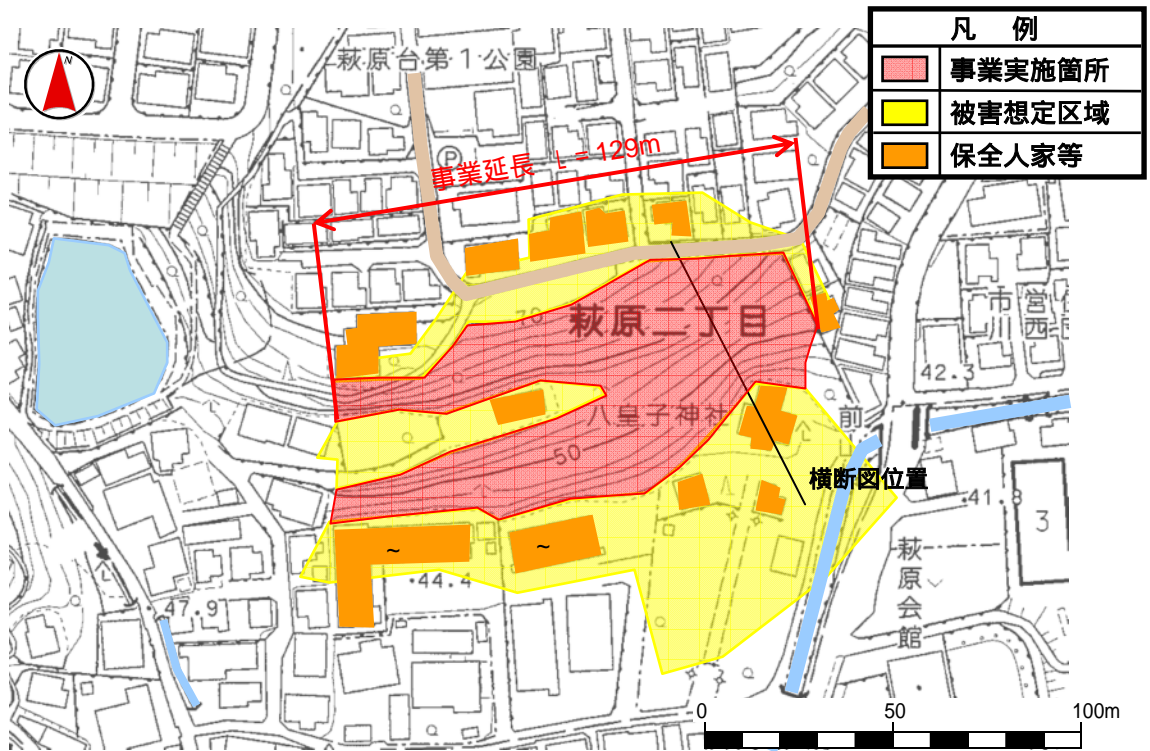
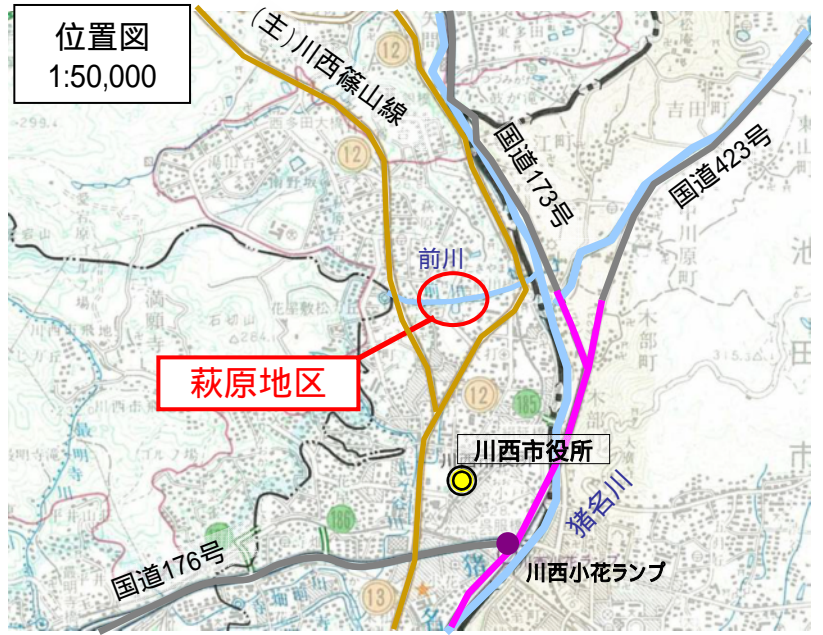
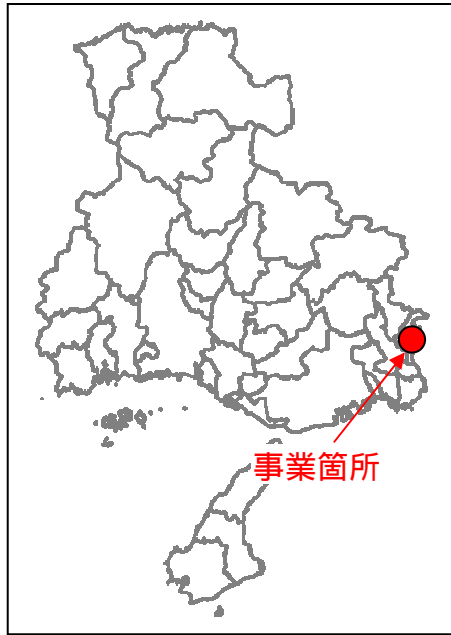


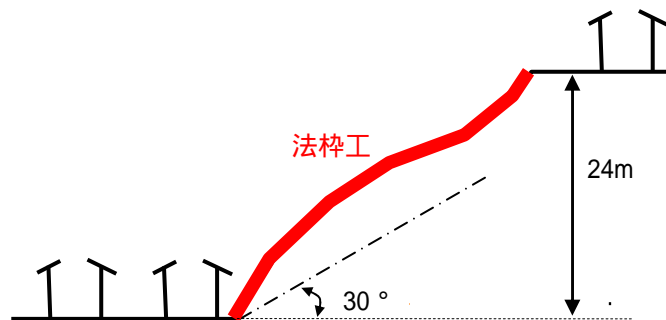
投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本 正利 (木本 和彦)	内線	4459 (4467)
------	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	急傾斜地崩壊 対策事業	事業名	事業区間	総事業費	1.9 億円
		急傾斜地崩壊対策 はぎはら 萩原地区	川西市 はぎはら ちょうめ 萩原2丁目	内用地補償費	- 億円
所在地				着工予定 年 度	完成予定 年 度
川西市萩原2丁目				H24	H26
事業目的			事業内容		
急傾斜地崩壊による災害の防止 当地区は斜面崩壊の危険性が高く、急傾斜地崩壊危険箇所となっている。斜面の上部および下部には人家があるため、防災工事を行い、地域の安全・安心な暮らしを支える。			急傾斜地崩壊対策事業 法枠工 L = 129m 〔負担割合 国 : 40.0% 県 : 40.0% 地元: 20.0%〕		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 〔地区の状況〕		<ul style="list-style-type: none"> <li>川西市役所より北へ約1.5kmに位置する急傾斜地崩壊危険箇所。</li> <li>斜面は荒廃しており、崩壊箇所も認められ、危険な状態。</li> </ul>			
〔保全対象等の状況〕		<ul style="list-style-type: none"> <li>延長129m、幅約50mの被害想定区域で、崩壊した場合の影響は大きい。</li> <li>人家20戸、市道70m。</li> </ul>			
(2)有効性・効率性 〔効果〕		<ul style="list-style-type: none"> <li>土砂災害警戒区域を今後指定予定であり、これに加えハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。</li> </ul>			
〔事業執行環境〕		<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の主旨について、十分な理解を得られ、地元の協力体制も整っていることから工事着手が見込め、円滑な事業の執行が可能である。</li> </ul>			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> <li>斜面の改変を最小限にとどめ、既存木を可能な限り残し、周辺環境との調和に努める。</li> </ul>			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> <li>保全対象には、人家20戸があり、一部斜面も崩壊していることから、早期着手に対する地元要望が強い。</li> </ul>			
以上より、H24年度に事業着手し、早急な対策が必要である。					



横断面図 S = 1:500



箇所名	秋原地区
-----	------